

県内9日目街中にピースコール響かせ



国民平和行進（東京ー広島コース）は、7月24日岡山県内9日目を迎えました。倉敷市船穂公民館から玉島支所までの行進です。玉島浅口原水協を中心に40名が参加しました。船穂公民館の出発集会では、地元から折りづる・募金が県内通し行進者に渡されました。県内リレー行進（民医連、登山者9条の会、笠岡市職労、被爆2世3世の会、高教組）5団体の紹介がありました。集会後、地元原水協の田辺市議を総指揮に行進スタート。

船穂・最初の県内通し行進者柚木進子さんの地元



最初の目的地は、1958年初めて県内通し行進をされた柚木進子（当時44歳）さん宅です。柚木邸では、ミニ学習会を開催し短時間ではありますが、進子さんのとりくみや船穂の平和行進の歴史を学びました。お話しをいただいたのは、娘の康子さんで、「子供のころ母と弟と3人で、毎年8月6日、9日は広島・長崎に向かって黙とうを捧げていたことを覚えています。」と話されました。



玉島支所で行進団と地元の人たち



到着集会は玉島支所です。出迎えてくださった

玉島支所長の加藤さんからは、「核兵器・戦争のない世界は、世界の共通の願いです。みなさんの目的が達成されますよう願っています。」と激励の言葉をいただきました。県内通し行進登山者9条の会の能瀬さんからは、「平和だから登山ができる。だから9条を守ろうと。憲法と平和を守る運動をすすめている。」と話され、集会を締めくくりました。

お願い・お手元のペナントは6月30日必着で県原水協までお届けください。